

2022 年のフィッシングサイト 最も狙われたブランドはなに？ ～インターネット詐欺レポート 2022 年まとめ～

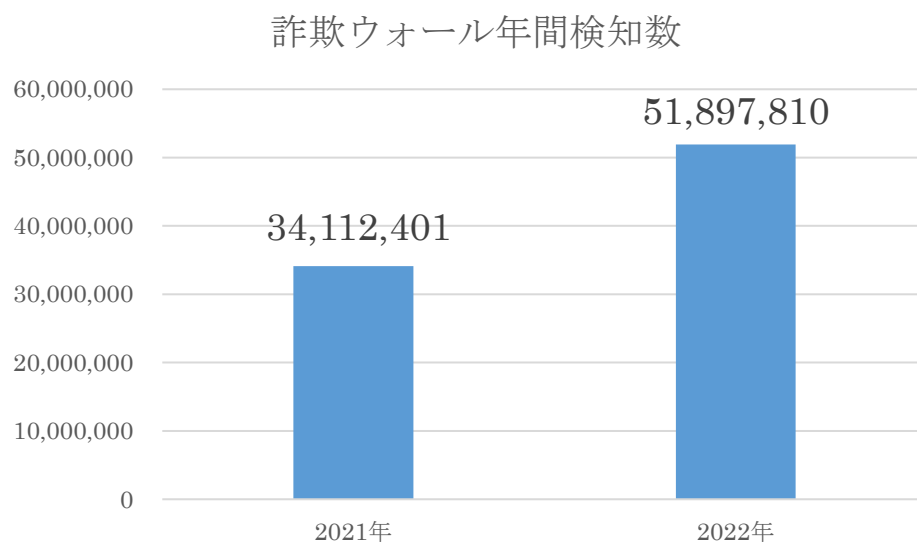
2022 年もさまざまなインターネット詐欺サイトが登場しました。そこで 2022 年を総括するインターネット詐欺レポートの 2022 年のまとめを発行致します。

目次：

- 2022 年ネット詐欺検知数は 52% 増加
- 2022 年ネット詐欺手口はフィッシング詐欺がトップ、実数ベースで 6 倍
- 2022 年最も狙われたブランドは？
- 2022 年カテゴリ別手口クレカが増加、EC サイト減少
- ネット詐欺サイト 2022 年考察と 2023 年予測
- フィッシング詐欺被害防止のポイント
- サイトを無料診断「詐欺サイトチェッカー」

■2022 年ネット詐欺サイト検知は 52% 増加

詐欺ウォールにおける 2022 年の詐欺サイト検知数は 51,897,810 件で 2021 年に比べ約 1.5 倍と大きく増加しました。偽販売サイトやフィッシング詐欺サイトなど検知数が増加しています。



■2022 年ネット詐欺手口はフィッシングがトップ、実数ベースで 6 倍

2022 年詐欺ウォールで調査・収集したネット詐欺の手口はフィッシング詐欺が構成比の割合で 17 ポイント増加、実数ベースでは 6 倍と大きく増加しています。国税庁やえきねっとなど 2021 年には見られなかったフィッシング詐欺サイトが増加、またクレジットカード向けのフィッシング詐欺も急増しました。

	2021 年	2022 年
フィッシング	32.1%	49.6%
偽販売・違法販売	67.4%	45.2%
ワンクリック詐欺/不当請求	0.1%	0.1%
Web 改ざん	0.0%	0.0%
偽ソフトウェア	0.1%	5.0%
公文書違反	0.0%	0.0%
著作権侵害	0.2%	0.1%
違法行為	0.0%	0.0%
不正サイト	0.0%	0.0%

■2022 年最も狙われたブランドは？

もっとも狙われたブランドは三菱 UFJ ニコスでした。こちらは、6 月から報告数が増加しており 8~9 月にはピークを迎えましたが 10 月以降は報告数が激減しています。毎月定期的に報告はなく短期間で大きな上昇を見せました。2 位の三井住友銀行は 9 月に大量に報告されており、10 月以降は大幅減少しました。ランキング上位のブランドは短期集中でばらまかれ、効果を見ながら運用をしている可能性があります。

詐欺ウォールで調査・収集したフィッシング詐欺サイト
ブランドランキング

	2021 年		2022 年	
1 位	三井住友カード	29.0%	三菱 UFJ ニコス	37.7%
2 位	Amazon	17.0%	三井住友銀行	9.3%
3 位	au	8.0%	国税庁	8.4%
4 位	楽天	5.0%	えきねっと	6.7%
5 位	メルカリ	3.0%	三井住友カード	6.3%
6 位	ETC 利用照会サービス	3.0%	au	5.3%
7 位	SoftBank	2.0%	SoftBank	4.8%
8 位	Apple ID	2.0%	Amazon	3.3%
9 位	NTT docomo	2.0%	メルカリ	2.6%
10 位	エムアイカード	2.0%	JCB	2.4%

ID・パスワードを忘れた方（ID検索された方）

※ 以下のご本人確認項目を入力してください。

[ご本人確認のための情報入力]

カード番号	必須	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <small>例：1234 5678 9123 4567</small> カード裏面に記載されている16桁の数字を入力してください。法人カードは強制ですが、ご家庭にはありません。
有効期限	必須	<input type="text"/> <input type="text"/> MONTH/YEAR <small>例：12/24</small> カード裏面に表示されている有効期限を入力してください。
カード種別番号	必須	カード裏面サイン（赤い部分）に印字されているカード種別番号（*）をご入力ください。 （*）下の表より ※ 電子マネーの偽造防止のため、入力された種別番号はマスキング表示されます。
お名前（カタカナ）	必須	<small>例：1234</small>  「カ」から始まる「イ」以降の上に印字された氏名欄へ必ず （姓と名が区別できず、姓と名が逆になっている場合は） ※ 都道府県との誤りがないようご注意ください。
性別	必須	性 <input type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女 （任意）
カード本人名	必須	<input type="text"/>
生年月日（西暦）	必須	※ 半角一文字で入力 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日
電話番号	必須	例：前掲10桁の電話番号の場合、10桁のうち090以上の数値を入れてください。 例：03-1234-5678 ※ 会社名等の正確な電話番号を市外局番から入力してください。

入力内容にご確認ください。OKで「ボタンを押して進みます」。

次へ
戻る

※お登録のご利用環境によっては、「戻る」ボタンが動作しない場合がございます。
ブラウザ上の「Ctrl + Z」ボタンより作業履歴を戻してください。

[ページの先頭へ](#)

[illegible]

※画像はフィッシング詐欺サイトのイメージであり、本文内容とは関係ありません。

15:08 イ
メッセージ

あお 〇 duckdns.org

国税庁 NATIONAL TAX AGENCY

差押最終通知

納税確認番号:****3697

あなたの所得税（または延滞金（法律により計算した額）について、これまで自主的に納付されるよう催促してきましたが、まだ納付されていません。もし最終期限までに納付がないときは、税法の定めるところにより、不動産、自動車などの登記簿財産や給料、売掛金などの債権などの差押処分に着手致します。

滞納金合計: 40000円

納付期日: 2022/11/21

最終期日: 2022/11/21（支払期日の延長不可）

お急いで対応してください。下記の方法でオンライン納付もご利用いただけます。

本人情報の確認を人力

メールアドレス入力

メールアドレス入力

電話番号をご入力ください

携帯電話番号

< > 上 本 下

■2022 年カテゴリ別クレカが増加、EC サイト減少

2022 年はクレジットカードを狙った手口が最も多く 17 ポイント増加しました。様々な会社のクレジットカードフィッシングサイトが作られており、構成比の割合が上昇しています。また官公庁も国税庁や厚生労働省の助成金のフィッシング詐欺サイトが増加し、構成比が上昇しています。一方昨年報告の多かった EC サイトを騙ったフィッシング詐欺サイトは構成比としては 24.6 ポイントと大きく減少しておりますが、クレジットカードの報告数が大幅に増加した影響で構成比が下がっており、報告の実数ベースでは増加しています。

	2021 年	2022 年
銀行	2.8%	9.7%
携帯キャリア	14.4%	10.4%
クラウドサービス	0.1%	0.0%
消費者金融/キャッシング	0.0%	0.0%
クレジットカード/ファイナンス	35.4%	52.9%
出会い系	0.0%	0.0%
EC サイト	32.2%	7.6%
ギャンブル	0.0%	0.0%
オンラインゲーム	0.0%	0.0%
違法広告	0.0%	0.0%
フィッシングリンク	0.1%	0.0%
ポータルサイト	0.1%	0.2%
プロバイダ	1.9%	0.4%
官公庁	0.4%	8.8%
株/証券	0.0%	0.0%
SNS	0.3%	0.1%
仮想通貨	0.5%	0.1%
Web メール	0.2%	0.1%
Web メールユーザ	0.0%	0.0%
Web サービス	10.4%	9.3%
その他	1.3%	0.5%

■.ネット詐欺サイト 2022 年考察と 2023 年予測

2022 年も多くの詐欺サイトが登場しましたが、時勢・季節性に合わせたサイト、国民の興味を引く事柄に合わせて詐欺サイトが作られています。一番報告の多かったクレジットカードの詐欺サイトは、2022 年の年末には報告数が減少しており、ターゲットを絞らず短期集中で様々な商材を狙っている傾向が見られました。狙われるブランドは変化していくため、日々注意をする必要があります。

2023 年も同様の傾向は続くと考えられ、あまり見られなかった商材のフィッシング詐欺サイトの報告数が急増するといった事態は起こる可能性があり、またラグビーの世界大会など興味関心を引くイベントに合わせて無料動画配信を騙った詐欺サイトが増加するなどといった時勢に合わせた詐欺サイトには引き続き注意が必要です。



動画配信のフィッシングサイト

※画像はフィッシング詐欺サイトのイメージであり、本文内容とは関係ありません。

■フィッシング詐欺被害防止のポイント

1. メールや SMS で案内された URL が正規の URL か確認する
メールや SMS メッセージ上のリンクはクリックせず、事前に登録しておいたブックマークやウェブ検索で正規サイトへアクセスする。または、怪しいサイトを診断する無料サービスを利用し事前に URL をチェックする
2. 個人情報やクレジットカード番号の入力を促すメール・SMS に注意する
クレジットカード会社などでは、個人情報やクレジットカード情報などについてメール・SMS での問い合わせは行っていないため、情報入力させるページに誘導するメールには細心の注意を払いましょう。
3. SSL 通信が提供されているかどうかチェックする
個人情報（メールアドレスやクレジットカード番号など）を入力するページのアドレスバーに鍵マークが表示されない場合には、注意が必要です。ですが昨今では SSL 通信されている偽サイトも登場しており、アプリやブックマークからサービスサイトへアクセスするほうが安全です。
4. ログイン ID・パスワードの使い回しを控える
複数のサービスサイトで同じログイン ID・パスワードを使い回していると、フィッシング詐欺によってログイン ID・パスワードが詐取された場合、他のサービスサイトの不正利用被害に遭う可能性が高まります。被害を最小限に抑えるためにもログイン ID・パスワードの使い回しはせず、サービスごとに登録内容を変更し管理を行うようにしましょう。

■詐欺サイトを無料で診断「詐欺サイトチェッカー」

日々増加するインターネット詐欺、詐欺サイトかどうかをチェックできるサービス「詐欺サイトチェッカー」を提供開始しました。詐欺ウォールが独自で収集した詐欺サイトのブラックリストと各官公庁から通報のあった詐欺サイトのブラックリストを元に無料で気になるサイトをチェックします。



詐欺サイト チェッカー

Powered by 詐欺ウォール

詐欺ウォールが収集したブラックリストを元に無料で気になるサイトをチェックします。

ネット詐欺かも・・・ 

チェック

①ご利用についてのご注意（ご利用の際は必ずご確認ください。）

サイト URL:<https://checker.sagiwall.jp/>

■「詐欺ウォール® / Internet SagiWall™」について

日本人を標的とするネット詐欺サイトをブロックする、ネット詐欺専用セキュリティソフトです。ウェブブラウザでサイト閲覧中の不用意に悪意のあるサイトにアクセスした場合でも、コンテンツをリアルタイムで検査し自動的にブロックします。ウイルス対策ソフトでは検知が難しい巧妙な詐欺サイトであっても独自の AI 検知技術で高い精度で検出するため、ウイルス対策と併用することでユーザーの安全を高めます。パソコンやスマートフォンの利用に慣れていない方でも、簡単に利用でき、サイバー犯罪被害を未然に防ぐことができます。

※詐欺ウォール®は、iOS、mac OS、Windows®、Android™版を提供しています。

<詐欺ウォール® / Internet SagiWall™製品サイト URL>

<https://www.sagiwall.jp/>

■BB ソフトサービス株式会社について

ソフトバンクグループにおいて、セキュリティ製品を主軸とするソフトウェアサービスを、ISP や携帯電話会社などの通信事業者を通じて提供しています。サービス提供のみならず、フィッシング対策協議会やその他の社外団体を通して情報セキュリティに関する啓発活動にも積極的に取り組んでいます。一般消費者のサイバー犯罪被害を減らし、よりよいインターネット利用環境を全てのユーザーに提供することで社会貢献を果たしてまいります。

<会社概要>

社名： BB ソフトサービス株式会社

所在地： 東京都港区海岸 1 丁目 7 番 1 号 WeWork 東京ポートシティ竹芝

社長： 代表取締役社長 兼 CEO 瀧 進太郎

設立日： 2006 年 1 月 17 日

株主： SB C&S 株式会社 100%

事業内容： ブロードバンドを利用したコンシューマー・SOHO 用アプリケーションサービス、およびオリジナルアプリケーションサービスの企画・開発・販売・運営

URL： <https://www.bbss.co.jp/home.html>

<お問い合わせ先>

BBSS 広報事務局

担当：池谷、松村、阿彦、建部

bbsspr@bbss.co.jp

